

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
がん看護学実習Ⅰ	2単位 90時間 実習科目	博士前期1年次 後期開講	可・ <input type="checkbox"/> 不可 「下記6, 7参照」
科目責任者	鳴井 ひろみ		
担当者	鳴井 ひろみ、本間 ともみ、小林 直子 (非常勤)、市川 智里 (非常勤)、東樹 京子 (非常勤)、平野 勇太 (非常勤)、千葉 育子 (非常勤)、小田 夏実 (非常勤)、清 好志恵 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
<p>&lt;ねらい&gt; 高度実践看護師の役割 (実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究) およびがん医療における地域連携の実際を理解し、高度実践看護師の役割機能について考察し、高度実践看護師としての自己の課題を明らかにする。</p> <p>&lt;目標&gt; 1) 高度実践看護師の役割 (実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究) を理解できる。 2) チーム医療における高度実践看護師の役割および多職種との連携や地域連携における連携の意義と実際について理解できる。 3) 高度実践看護師としての活動のあり方および自己の課題を述べることができる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>&lt;実習内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) がん看護専門看護師とともに行動し、複雑な問題を抱えるがん患者・家族に対する看護実践 (高度な看護実践、倫理的調整、看護スタッフからの相談、ケアの調整) について見学実習を行う。</li> <li>2) がん患者・家族へのケアに関して、がん看護専門看護師が多職種と行うケア調整について学ぶ。</li> <li>3) がん看護専門看護師が行う地域医療連携の活動を見学し、地域連携における多職種とのチーム医療における調整と連携を学ぶ。</li> <li>4) がん看護専門看護師が行う看護スタッフに対する教育内容及び教育方法の実践について学ぶ。</li> <li>5) がん看護専門看護師が行うスタッフ看護師および多職種からの相談への対応について学ぶ。</li> <li>6) がん看護専門看護師の活動を通じ、がん患者・家族の倫理的問題や葛藤の解決方法を学ぶ。</li> <li>7) がん看護専門看護師が行う研究活動について説明を受け、看護スタッフに対する研究指導を学ぶ。</li> <li>8) 高度実践看護師としての役割を發揮するために求められている自己の課題および高度実践看護師としての活動のあり方を考察しレポートとしてまとめる。</li> </ol> <p>&lt;実習場所&gt; 国立がん研究センター東病院、静岡県立静岡がんセンター</p> <p>&lt;実習指導体制&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教員は実習指導者 (がん看護専門看護師) と連携して、実習記録およびカンファレンス内容を指導する。</li> <li>2) 教員は、施設の実習調整担当者、実習病棟看護責任者、がん看護専門看護師と協働し、学生の教育環境を調整する。</li> <li>3) 実習指導者 (がん看護専門看護師) は、高度実践看護師の役割 (実践・相談・調整・倫理的調整・教育・研究) を視野に入れながら、学生が複雑な問題をもつがん患者・家族に対する看護実践を提供する場面を見学できるように学びの機会を提供する。</li> </ol>			
3. 教科書、参考書			
指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。			

#### 4. 成績評価方法

実践（65%）、実習への取り組み状況（5%）高度実践看護師の役割と自己の課題に関するレポート（30%）を総合して評価する。

#### 5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースがん看護の学生は必修

#### 6. 社会人学生に対する配慮

個別指導については日時およびオンライン対応等の相談に応じる。

#### 7. その他

- ・実習目標に基づき、これまでの経験から自己の課題を明確にして臨むこと。また、高度実践看護師の役割について事前学習を行い臨むこと。
- ・カンファレンスや個別指導は状況に応じてWebex meeting または Zoom を用いてオンラインで実施する。
- ・オンデマンドの実施不可